

米原市立息長小学校

令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

知・徳・体の調和のとれた米原の子どもの育成
—米原っ子に「生きる力」を—

【学校 目標】

○やさしく かしく たくましく

【現状と課題】

- 視点1 自分の思いを豊かに表現し合う場面を設けた授業づくりが必要である。
○視点2 互いを認め合い、安心して表現できる学級集団づくりが必要である。
○視点3 OJTや校内研究を充実させ、教師の力量を高める必要がある。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○めあてをしっかり持ち、学びの足跡を振り返ることができる授業づくりに努める。	・すべての授業で、「めあて」、「自己解決」、「集団解決」、「まとめ」、「ふり返し」の流れに基づいた授業構成ができています。(学校評価)		
○ICTの効果的な活用や学び合い学習を通して、学びが深められる授業をめざす。	・90%以上の児童が「ICTを積極的に活用できた」と答えている。(学力学習調査6年、市学力調査4年、学校評価)		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○学習規律を身につけ、自分の思いや考えが安心して表現し合える学習集団づくりに努める。	・ほぼすべての児童が「学びのベース」(本校の学習規律)を意識して学習に取り組んでいる。(学校評価)		
○すべての場面で生徒指導の3機能(自己存在感を高める・自己決定の場をつくる・共感的な人間関係を育成する)を生かした指導を心がける。	・70%以上の児童「自分の学級で安心して表現できる雰囲気である」と答えている。また、90%以上の児童が「自分を大切にしている気持ちがある」と答えている。(学力学習調査6年、市学力調査4年、学校評価)		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○外部の指導を積極的に仰ぎながら校内研究を通して、教師の授業力を高める	・半数以上の教師が、「国語科の授業力が高まった」と感じられる。(学校評価、校内研究授業アップデートシート)		
○計画的・継続的にOJT研修を実施し、ベテランと若手教員の互いの力量を高める	・OJTの交流の時間が月1回以上確保できた。		

◇5月の職員会議で学ぶ力向上推進リーダーが学ぶ力向上策について説明し、夏期休業中に全国学力・学習状況調査や市の学力調査の結果から学ぶ力向上策の見直しに取り組み、後半の取り組みにつなげる。
◇指導主事を招聘して、指導案の作成や研究授業について指導をいただき、検証・改善を行いながら、校内研究に取り組むとともに、かしこく部会を中心に児童の語彙を広げる活動に取り組んでいく。

今年度の取組の成果と課題